



Gluegent Gate

代理認証オプションサービス仕様書



目次

はじめに	2
代理認証オプションの概要	2
代理認証アプリケーションの使用方法	3
代理認証アプリケーションの登録	3
アクセス権限ルールの作成	6
ユーザーへのサービス使用許可（管理画面での変更）	7
ユーザーへのサービス使用許可（CSVでの変更）	8
サービスへのログイン	8
ユーザーIDの属性名について	9
サービス個別のログインIDを設定するには	9
サービス個別のログインIDを更新するには	10
サービス個別のログインIDを削除するには	10



はじめに

本書は、Gluegent Gate における代理認証オプションのご利用方法について解説します。

※代理認証オプションは Gluegent Gate のオプション機能として提供しております。ご利用いただくには別途お申し込みが必要となります。

代理認証オプションの概要

代理認証オプションは、SAML 認証に対応していない一般的な Web サービスへのログインを行うための機能であり、以下の機能を提供します。

- Web サービスへのログイン
- Web サービスに対するアクセス制御

また、この機能はサービスへのログインのみを対象とした機能であり、以下の機能は提供していません。

- Web サービスのアカウント管理
- Web サービスを起点とするシングルログアウト

※本オプションは全てのサービスに対しての認証成功を保証するものではありません。

※対象の Web サービスが [http] の場合、ブラウザの仕様により安全でないと判断され、正常に画面遷移が行えない場合があります。



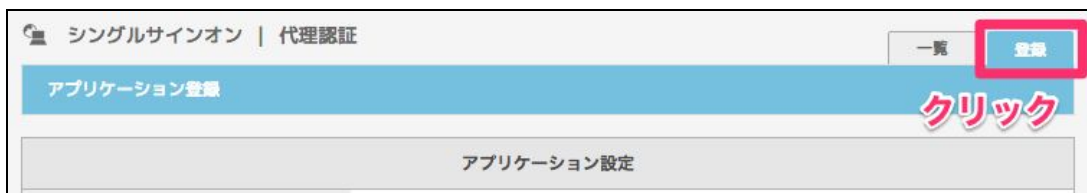
代理認証アプリケーションの使用方法

代理認証アプリケーションの登録

Gluegent Gate 管理画面にアクセスし、「シングルサインオン」→「代理認証」の順にクリックします。



「登録」をクリックします。



各項目をアプリケーションの仕様にあわせて設定し「保存」をクリックします。



ユーザIDの属性	ユーザID <input type="button" value="▼"/>
ユーザIDのパラメータ ※	<input type="text"/>
パスワードのパラメータ	<input type="text"/>
POSTデータ	パラメータ <input type="text"/> 値 <input type="text"/> <input type="button" value="POSTデータを追加"/> <input type="checkbox"/> ログイン画面のHidden属性を送信する
セッションのクッキー名	<input type="text"/>
ログイン済み判定スクリプト	<input type="text"/>
ログインスクリプト	<input type="text"/>
ポータルに表示するロゴ画像	ログ画像が公開されているURLを入力してください。 <input type="text"/>
※ は必須項目です。	
<input type="button" value="保存"/>	

※各項目の設定値はアプリケーションごとに異なります。各アプリケーションの仕様に基づいて設定してください。

割り当てるライセンス (必須)	代理認証の設定を行うライセンスを選択します。
アプリケーションID (必須)	代理認証するアプリケーションを識別するID
アプリケーション名 (必須)	代理認証するアプリケーションの名前
メソッド (必須)	アプリケーション側に送信する情報の送信方法を選択します。
ブラウザアドオン	ブラウザにインストールしたアドオンを利用して代理認証を行う場合、有効のチェックをオンにします。
ログインURL (必須)	アプリケーションのログインフォームが表示されるURL
初回アクセスURL	「ログインURL」に設定したURLに遷移させるためにアクセスするURL 「ログインURL」に設定したURLに直接アクセスすることができる場合は入力不要です。

ログアウトURL	シングルサインアウトを行う際にアクセスするURL 代理認証アプリケーションはログアウトのみ対応しており、アプリケーションを起点としたシングルログアウトは対応していません。
マルチパートデータ送信	送信データをURLエンコードでなく、マルチパートでエンコードする場合、有効のチェックをオンにします。
ユーザIDの属性名	後述の「 ユーザIDの属性名について 」を参照してください。
ユーザIDのパラメータ (必須)	ログインフォームにおけるユーザIDを入力するコンポーネントの名前
パスワードのパラメータ	ログインフォームにおけるパスワードを入力するコンポーネントの名前
POSTデータ	ユーザID、パスワード以外に併せて送信する情報がある場合はここに追加してください。
セッションのクッキー名	「ブラウザアドオン」の有効のチェックがオンの時にのみ設定可能です。クッキー名を指定したい場合に設定します。このクッキーの有無でアドオンがログイン済みかを判断します。
ログイン済み判定スクリプト	ログイン済みかどうかの判定スクリプトをJavaScriptを使って記述します。
ログインスクリプト	ログイン時に送信するデータを加工する場合にJavaScriptを使って記述します。
ポータルに表示するロゴ画像	このサービスのアイコンがポータルに表示されます。この時に使うロゴ画像のURLを指定します。



アクセス権限ルールの作成

代理認証アプリケーションを登録すると、このアプリケーションにおけるアクセス権限ルールを作成することが可能です。作成方法は通常のアクセス権限ルールの作成と同一ですが、「許可するサービス」に登録したアプリケーション名が表示されるようになります。

なお、アプリケーションIDには、英数字のみを利用可能です。

🔒 アクセス権限 | 新規登録

アクセス権限

ID ※	<input type="text"/>									
アクセス先のサービス ※	<input type="checkbox"/> G Suite <input checked="" type="checkbox"/> sample <input type="checkbox"/> 管理コンソール <input type="checkbox"/> ユーザポータル									
要求される認証方式	<p>選択した認証方法</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;">ID/パスワード認証</div> <p>追加 削除 ▲ ▼</p> <p>認証方法一覧</p> <table><tr><td><input checked="" type="checkbox"/> ID/パスワード認証</td><td><input type="checkbox"/> ワンタイムパスワード (トークン)</td><td><input type="checkbox"/> ワンタイムパスワード (メール認証)</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> スマートフォン認証</td><td><input type="checkbox"/> PC端末認証</td><td><input type="checkbox"/> アクセスキー認証</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> アクセスキー確認</td><td></td><td></td></tr></table>	<input checked="" type="checkbox"/> ID/パスワード認証	<input type="checkbox"/> ワンタイムパスワード (トークン)	<input type="checkbox"/> ワンタイムパスワード (メール認証)	<input type="checkbox"/> スマートフォン認証	<input type="checkbox"/> PC端末認証	<input type="checkbox"/> アクセスキー認証	<input type="checkbox"/> アクセスキー確認		
<input checked="" type="checkbox"/> ID/パスワード認証	<input type="checkbox"/> ワンタイムパスワード (トークン)	<input type="checkbox"/> ワンタイムパスワード (メール認証)								
<input type="checkbox"/> スマートフォン認証	<input type="checkbox"/> PC端末認証	<input type="checkbox"/> アクセスキー認証								
<input type="checkbox"/> アクセスキー確認										
クライアント	<input type="checkbox"/> ブラウザ PC <input type="checkbox"/> ブラウザ スマートフォン <input type="checkbox"/> ブラウザ タブレット <input type="checkbox"/> 携帯電話									
権限の状態	有効 ▼									

※ は必須項目です。

登録

アクセス権限ルールの作成方法については「Gluegent Gate スタートアップガイド」をご参照ください。

ユーザーへのサービス使用許可（CSVでの変更）

CSVを利用してユーザーにサービスの利用を許可するときは、サービス列の値にサービスID¹を記載してください。

The screenshot shows a web interface for user management. At the top, there is a header with a user icon, the text 'ユーザ | CSV登録', and three buttons: '登録' (Register), '削除' (Delete), and 'サービスのログインID登録' (Register service login ID). Below the header is a blue bar with 'ユーザ登録' (User Registration). Underneath is a grey bar with 'ユーザ情報' (User Information). The main content area is titled 'CSVファイル' (CSV File) and contains a 'ファイルを選択' (Select file) button and the text '選択されていません' (Not selected). Below this is a list of instructions for CSV registration, including details on file format, user ID, management rights, and service permissions. At the bottom of the instructions, there is a section titled '登録可能なサービス' (Services that can be registered) with a list of services, including 'googleapps(G Suite)' and 'sample-...' (partially obscured by a red box). A '登録' (Register) button is located at the bottom center of the form.

サービスへのログイン

サービスにログインするには、以下のURLにアクセスしてください。

https://auth.gluegent.net/sso/clientlogin.php?sso_app=<アプリケーションID>&tenant=<テナントID>

¹ サービスIDはシングルサインオン>代理認証で設定したアプリケーションIDです。

ユーザーIDの属性名について

代理認証にアプリケーションを追加する際の「ユーザーIDの属性名」について記載します。

設定値	意味	注意点
ユーザID	Gluegent Gate アカウントのローカルパートをログイン先サービスのIDとして使用する	パスワードは Gluegent Gate のパスワードを利用する
ユーザID@テナントID	Gluegent Gate アカウントID全体をログイン先サービスのIDとして使用する	パスワードは Gluegent Gate のパスワードを利用する
メールアドレス	Gluegent Gate アカウントIDに設定されたメールアドレスをログイン先サービスのIDとして使用する	パスワードは Gluegent Gate のパスワードを利用する
社員番号	Gluegent Gate アカウントIDに設定された社員番号をログイン先サービスのユーザーIDとして使用する	パスワードは Gluegent Gate のパスワードを利用する
サービス個別のログインID	CSVを利用して個別のユーザーID、パスワードを紐付ける	別途CSVの作成が必要
追加属性	システム>追加属性で設定した値をログイン先サービスのユーザーIDとして使用する	seciossExtensionAttribute:x-custom-01~05のみ使用可

ユーザID、ユーザID@テナントID、メールアドレス、社員番号は現在の Gluegent Gate アカウントの属性をそのまま利用できるため、容易に使用することが可能ですが、パスワードも Gluegent Gate アカウントのパスワードを使用するため、以下の短所があります。

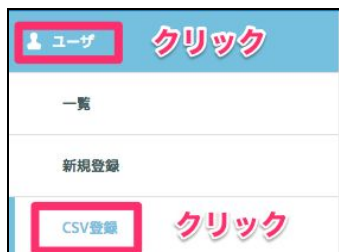
- ログイン先サービスのパスワードがユーザーに知られてしまう
 - Gluegent Gate アカウント、ログイン先サービスのアカウントで常にパスワードを同期しなくてはならない
- 一方、CSVを利用して Gluegent Gate アカウントのID、パスワードとは個別に認証情報を割り当てることが可能です。

サービス個別のログインIDを設定するには

サービス個別のログインIDは以下の手順で設定します。

Gluegent Gate 管理画面にログインします。

「ユーザ」→「CSV登録」をクリックします。



「サービスのログインID登録」をクリックします。
CSV登録画面に記載されたフォーマットに従ってCSVを作成します。
読み込ませたいCSVを選択し「登録」をクリックします。

ユーザ | CSV登録

登録 削除 サービスのログインID登録

サービスのログインID登録 **クリック**

ユーザ情報

CSVファイル

ファイルを選択 選択されていません

●CSVファイルの形式は次のようになります。
ユーザID,サービス,サービスのログインID,サービスのパスワード
登録可能なサービス
- sample-: [redacted] sample)

登録

サービス個別のログインIDを更新するには

最新のCSVを利用して「[サービス個別のログインIDを設定するには](#)」と同様の手順を実施してください。

サービス個別のログインIDを削除するには

削除したいID、パスワードを空欄にしたCSVを利用して「[サービス個別のログインIDを設定するには](#)」と同様の手順を実施してください。



Gluegent Gate
代理認証オプションサービス仕様書

2020年10月1日
サイオステクノロジー株式会社

※本書に記載されている製品名及び会社名は、各社の商標または登録商標です。
※本書の内容の無断転載および改変を禁止します。